



## 附属図書館が所蔵する漢籍の巻頭画像が 全国漢籍データベースから公開されました！！



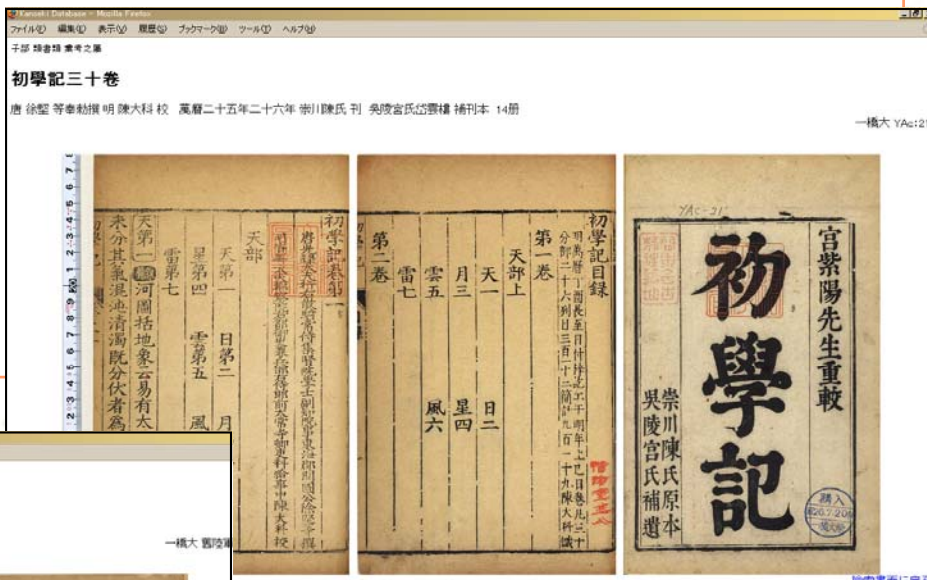
一橋大学附属図書館所蔵の漢籍の一部(注1)について、巻頭画像(第一巻第一葉)が全国漢籍データベース(運営:全国漢籍データベース協議会)から公開されました。

漢籍は、同本異版が多く、書誌事項だけでの判別が難しい書物です。巻頭の画像が、異同の区別する際の助けとなります。また、封面(標題紙)や刊記など巻頭以外の画像が公開されているものもありますので、封面の書名(注2)や印記など書誌事項には記載されていない情報を画像から読み取ることができます。

注1) 画像が公開されたのは、三浦文庫、村松文庫(民国以前刊行分)、菅文庫、貴重資料に含まれる漢籍です。平成19年度は、833枚、平成20年度は、328枚の画像が公開されました。

なお、画像化は、全国漢籍データベース作成委員会に交付された科学研究費補助金(研究成果公開促進費)及び高本善四郎図書奨学基金によって行われました。

注2) 漢籍の書名は巻頭(第一巻第一葉のはじめ)からとることが多い。



初學記 三十卷

どちらも貴重資料室(※)にある漢籍。嘉靖十年(1531)刊(左)と萬曆二十五年二十六年(1597-1598)刊(上)。

初學記は、8世紀前半に成立した唐代の類書(多くの書物の中の事項や語句を分類編集して調べやすいようにした書物。百科事典的な性質を持つ)。

※一橋大学附属図書館では、1644年(明代)以前に刊行された漢籍は貴重資料室で管理しています。



### 漢籍って何？

漢籍とは、主として、辛亥革命(1911年)以前に中国人が中国語を用いて著した書物(自著、編集、注釈、翻訳、筆述等)を指します。本学では、主に本館分類(YA~Ye)、三浦文庫、村松文庫、菅文庫の中に漢籍が含まれます。また、和刻本漢籍(日本人が出版した漢籍)や準漢籍(日本人による編著および本文中に日本人が注釈や考証を加えて書名を付けたもの)なども漢籍に含まれていることがあります。



# 漢籍

の探し方を知っていますか？



一橋大学附属図書館所蔵の漢籍を探す場合、HERMESを検索しても、所蔵資料のごく一部しか検索できません。漢籍の所蔵を調べるには、まず、全国漢籍データベースを検索してみましょう。全国漢籍データベースは、日本における漢籍の所蔵を調べる際の基本的なデータベースです。一橋大学附属図書館で所蔵している漢籍も大部分がこのデータベースで検索できるようになりました。

今後はHERMESでも漢籍が検索できるようになっていく予定です。

全国漢籍データベース (詳細検索) >>>>>>

<http://kanji.zinbun.kyoto-u.ac.jp/kanseki?detail>

## 全国漢籍データベース

日本所蔵中文古籍データベース

書名	経済類編
著者名	
刊年	
出版者	
子目	
keyword	一橋大 三康 中央大 九大 九大 六本松 二松學會 京大人文研 本館 東方

「keyword」では、文庫を特定した検索ができます。

- ▶ 三浦文庫 → 「Miura」
- ▶ 村松文庫 → 「Muramatsu」
- ▶ 菅文庫 → 「Suga」

### 検索のコツ

一橋大学附属図書館が所蔵している資料のみを検索する場合には、「所蔵機関」で「一橋大」を選択して検索します。

※「一橋大」が一番上に表示されています。

検索結果一覧末尾に「jpg」とあれば、巻頭画像があります。

1. 経済類編一百卷 明 馮琦 撰 明刊本 一橋大 id#
2. 経済類編一百卷 明 馮琦 撰 民國五十七年 臺北成文出版社 甲寅二十三年淮南新成村即南屏山刊本
3. 経済類編一百卷 明 馮琦 撰 萬曆三十二年序 刊本 一橋大 id#

### 書誌事項

※一橋大学附属図書館所蔵分の書誌データ(子目を含む)は、2009年3月現在で56,428件登録されています。

## 三浦文庫の漢籍について

今回、全国漢籍データベースから公開された巻頭画像の

多くは三浦文庫に含まれる漢籍です。1951年に収蔵された三浦文庫は、元東京商科大学学長で、山形の両羽銀行の頭取でもあった三浦新七(1877-1947)博士の旧蔵書ですが、ヨーロッパ文化史研究のために蒐集された洋書のみが「三浦文庫目録」として目録が作成されています。晩年の研究(比較文化史研究の視点による東洋文化、特に中国古代文化の研究)のために蒐集された和漢書の目録は作成されませんでした。全国漢籍データベースに登録されてという形ではありますが、三浦文庫の和漢書のうち漢籍についてはその全容を容易に把握できるようになったこととなります。三浦文庫の漢籍は、中国古代文化、とりわけ卜辞・金文の著録・考釈に関する優れたコレクションになっており、今回の公開を機に、利用が促進されることが期待されます。

また、中国古代文化に関する講義も含まれる「三浦新七先生講義原稿」が電子化されて、HERMES-IR (Special Collections) より公開されています。合わせてご利用ください。

>>>>>> <http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/da/handle/123456789/5498>

参考文献) 増淵龍夫「三浦文庫について」、『一橋大学附属図書館史』(一橋大学, 1975.10, p.213-217 【Az:132】)

